



題字 井口 文章  
再刊 第440号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2024

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面：冬休み陸上部、吹奏楽部結果  
保健室利用時のルールをもう一度チェック  
二面：スキー修学旅行特集  
三面：真のお土産セレクトショー

# 冬の努力が結果につながる



自分の走順を手で表してくれた

## 陸上部 新春駅伝入賞

冬休み中に陸上部と吹奏楽部が大会に出場し、それぞれ受賞した。今号では彼らにインタビューをし、大会までに行ってきたことや受賞への想いを聞いた。(編集部共同取材)

陸上部は、1月5日に府中多摩川かぜの道で行われた東京都第4・5・6支部主催、第26回新春駅伝競走大会にて、1区太田結菜さん(2L)、2区安藤こころさん(2F)、3区吉川佳凛さん(3C)、4区早川愛花さん(2L)の女子Aチームが3位入賞を果たした。入賞できた秘訣を4人は、昨年の大会からそれぞれが地道に力をつけ、個人記録を伸ばしていったと話した。

## 吹奏楽部 金管八重奏金賞

吹奏楽部は12月27日(水)に行われた東京都高等学校アンサンブルコンテストに金管八重奏とクラリネット六重奏の2団体が出場し、金管八重奏は金賞、クラリネット六重奏は銀賞を受賞した。

クラリネット六重奏のメンバーである星奈宇香さん(2D)は大会に向けて練習だけでなく、休みを大事にすることを意識したという。メンバーみんなでクリスマスパーティーを行い、仲を深めたことでもあった。金管八重奏の真崎郁美さん(2K)は「メロディが主眼点で、金管はリズムと響きを支える」と語る。

6月の定期演奏会に向けて、真崎さんは「一人ひとりの成長したところを見せたいと思います」と意気込んでいる。

## 今年の共通テストはどうだった？

### 2024年共通テストを振り返る

解いた2年生に聞いてみた

3年生が受験した今年のカンテストはどうか、共通テスト同日模試を受験した2年生数名に、各科目の感想を聞いてみた。

○国語：古典が難しく、文法や古典常識を覚えておく必要があると感じた。

○数学：最初は簡単な気がしたが、後になればなるほど難しくなってきた。

○英語：のんびり解いていたが、時間があつた。情報量が多く大変だった。

○理科：習っていない範囲もあり、学習したことは確実に定着させなければならなかった。

○社会：読み取り問題が多く、習ってなくても解ける問題が多かった。

2年生のAさんは「科目数が多く、集中力が続かないのが100%の実力を発揮できなかった」と思う。どの科で文章の長文化が顕著になっ

目も文章量が多くて読むだけでも時間があつてしまった。大変だった」と模試を振り返った。

**進路主任の先生に聞く**

今年で4回目の実施を迎えた大学入学共通テスト。進路指導部の山田功司先生は、今年のカンテストについて難易度はほぼ昨年と変わらないと分析する。一方で、英語や数学で文章の長文化が顕著になっ



錦城にある共通の過去問

てきているため、文章を読む必要情報を取捨選択する力が大事であると解説してくれた。来年以降の受験者に向けて、山田先生は学習と生活を切り離すことなく、学んだことを積極的に日常で使うことが大切だと語る。共通テストでは、高校で学んだ内容から発展させた問題が多く、普段から知識を結び付けておく練習をしておくことが効果的な共通テストの対策になるからだと山田先生は説明する。山田先生は生徒がよく口にしている「これって将来、役に立ちますか?」という発言にも触れて「役に立たないのではなく、自分から役に立たせよう」という気持ちをもって学びに向かえばいいと思います」と錦城生に訴えている。(白、蘭)

## 守ってる?保健室のきまり



保健室の前に利用時のルールが掲示されている。これは、保健室の先生が作ったもの。錦城生に、保健室を訪れる際のルールを再確認してほしいそう。例えば、授業の際は友達に伝えてもらうのではなく、授業担当や担任の先生に伝えて保健室に来室してほしいと保健室の先生は語る。改めて見直してみよう。(普・仏)

## 新聞救援求★

現在新聞委員会では編集部員を募集しています。文章を組み立てるのが苦手でも大丈夫! 優しく個性豊かな先輩たちが教えてくれます。写真を撮りたい人、パソコンを扱うのが好きな人、Word や Excel などを使うので、情報の授業だけでなく、将来の仕事にも有利です! ぜひ、新聞委員会編集部へ  
※新聞委員会に入っていた先輩の中には実際にマスコミ関係に就職した方や、新聞学科のある大学に入学した方もいらっしゃいます。(仏)



新入部員さん、いつでもお待ちしております!!

## 中央委員会 テレビ東京でプレゼン

テレビ東京の『田村淳のiQOO Party』にて、中央委員会のFC東京が共同で地域をよくしていくための取り組みを行っている。1月23日に六本木のテレビ東京で最終プレゼンの様子が見られ、中央委員4人が出席した。

錦城が問題として挙げたのは、地域の人のコミュニケーションが減少していること、そして、それによって何かあった時に周りの人に頼ることができなくなることだ。そこで、子供の安全を守る方法として、『みまもりモ』というアプリの開発を提案した。これは見守るとリモートを混ぜた造語でインテフオンと鍵、そして親の企画を進めていくことでも

中央委員会の高杉咲良さんは「誰のための提案で、誰に使ってもらいたいか」ということを特に意識しながら活動を行いました」と活動を振り返る。今回で番組企画としてはひと段落ついたそうだが、参加した学校の持っているツールを活用し、それぞれの企画を進めていくこともできると話した。

中央委員会の高杉咲良さんは「今後この活動は続けていけたらいいなと思います」と意気込みを語った。

生配信の様子はYouTubeで配信されており、1月30日(火)18時まで見ることができ。また、テレビ東京での放送は2月18日(日)、2月25日(日)に行われる。詳細は次号以降にて紹介する。(紫)

## 「思い出せるような高校生活を送ってほしい」 55回卒業文集 4年越しに完成

コロナが流行し始めて卒業を迎えた55回生。そのため卒業式も簡略化して行われ、当時の3年K組は卒業文集を作ることができなかった。今年の3学期が始まって一週間ほど、その旧3年K組のメンバーが、当時作れなかった卒業文集を作ろうと錦城に再集合した。無事完成した卒業文集の前に、55回生の渡辺泰地さんにお話を伺った。渡辺さんは在学中に所属していた柔道部OBとして頻りに錦城を訪れていたが、母校に来るのは1年ぶりだと話す。「もともと文集を作ろうという話はあったのですが、新型コロナウイルスの流行で当時は実現できず、今回高校を使わせてもらって作ることにしたんです。

卒業式もすぐに下校となったコロナ禍での高校卒業を、渡辺さんは「高校生活の終わりとしては寂しかった」と振り返る。大学に進学してからも、慣れないオンラインでの授業など苦労が多かったという。中でも「自分と向き合う時間が増えて、大学生の指針などをいろいろと考えるいい機会になりました」とプラスの側面もあったことを教えてくれた。

そんな学生生活を過ごした渡辺さんは、後輩である錦城生へ向けて、自身の文化祭での思い出も振り返りながら「高校のときの思い出は、小中学校のものとは違って大人になっても思い出す機会が多いと思います。皆さんには、大学以降も思い出せるような充実した高校生活を送ってほしいです」と語りかけた。(瑞)



久しぶりに再会した学友

## むらさき草

「努力は必ず報われる」。この言葉が嫌いだ。必ず報われるなら、皆第一志望に合格するだろうとひねられてしまう。「努力した者が必ず成功する」という言葉もある。作曲家のベートーヴェンの言葉と「親ガチャ」という言葉がある。子どもは親を選べない。ゲームのガチャに例えたスラングで、他にも「担任ガチャ」「クラスガチャ」など派生語が生まれた。「親ガチャ」は当初、意に沿わない親を「親ガチャ外れた」と愚痴るような使われ方だったが、次第に選ぶ余地のない家庭環境や社会情勢にも使われるようになった。確かに、家が落ち着かなかつたら勉強にも集中できない。いかに、余裕のある家庭環境や社会情勢にも使われる。恵まれるかもしれない。本人の努力の前に、機会の差が存在するならば「成功する者はみな、ガチャに当たった」環境に恵まれたうえで、努力している」となるのだろうか。いや、ガチャに外れたからと言って絶対に成功しないというわけではないだろう。「イエーイ!!!」と叫ぶおなじみのサンシャイン池崎さん。疲れた時に元気をくれるとても好きな芸人さんなのだが、YouTubeチャンネルであるとき昔を振り返っていた。彼は「父親がヘビースモーカーで、営んでいる工場がたばこの不始末が原因で2回も全焼してあり貧乏だった」という。そして、苦学して大学に通って夢だった今の仕事にたどり着いたのだ。▼そんな池崎さんの話を思い出した。人それぞれ環境はある。そもそも戦争や格差など個人ではどうしようもないこともある。とはいえ、環境を嘆き諦めるだけでは何も変わらない。やはり、努力をする意味はあるのだろうか。(紫)

# 蔵王スキー修学旅行4年ぶりに復活

## 60回生蔵王修学旅行まであと2日

新型コロナウイルスの影響による様々な制限の中で行われてきた修学旅行だが、ついに今年から蔵王スキー旅行が復活する。今号では錦城の修学旅行を特集した。(編集部共同取材)



玉こんにゃく片手にピース  
(2018年第252号より)

蔵王修学旅行で買うお土産の定番といえば、玉こんにゃくや「蔵王銘菓樹氷ロマン」などであろう。しかし、あえて王道でない食べ物に挑戦するのはいかがだろうか。ここでは、蔵王ならではのお土産を紹介する。

### 蔵王のお土産セレクトタイム!

#### ①蔵王のスイーツ

蔵王で人気のたまごプリン「森の芽ぶきたまご舎 蔵王のたまごプリン」は蔵王の良質な素材をふんだんに使用したプリン。蔵王の豊かな自然のなかで育った鶏の卵と、厳選した蔵王産の牛乳・生クリームを使用。消費期限は、発送日を含めて6日ととても短い。新鮮なうちに食べるのがおすすめだ。

#### ②蔵王の山菜漬汁

蔵王周辺は美味しい山菜が豊富である。蔵王山麓で栽培され、収穫までに8年かかると言われる幻の山菜行者にんじくの生の葉を特製醤油漬けにした行者にんじくはお土産として人気が高い。

#### ③蔵王温泉グッズ

蔵王は温泉地としても有名である。JR山形駅からバスに乗り、約40分。細い坂道に沿って旅館や飲食店が建ち並び、温泉街のメインストリート・高湯通りにある「Zao Onsen 湯旅屋 高湯堂」は日本初の温泉コーデショップ。蔵王温泉の名前が入った温泉グッズや入浴剤、温泉化粧品などがお土産として人気である。



54回生の蔵王スキー旅行の様子(2018年第252号より)

一学期後半から徐々に支度が始まった60回生の修学旅行は、レンタルするウェアと靴のサイズの確認や、班分けのための実力アンケート、レクリエーションなどの計画、文化体験の内容決め、部屋割りなど順調に進んでいる。修学旅行実行委員会の新聞係は、二学期中頃から集まり、二学期に向けて山形や蔵王、宿泊する施設やお土産などを紹介する新聞を製作し、各クラスに掲示した。また、しおり係はしおりに掲載するコーナーのため、先生方のあるあるや歴史などを聞くアンケートも行った。完成した修学旅行のしおりは三学期に配布された。しおりに先生方が自筆したプロフィールや、移動



修学旅行のしおり

時間にみんなで楽しめるゲームなどが掲載されている。生徒たちもしおりに掲載されていた持ち物チェックリストを参考にしながら本格的に荷物の支度を始めているようだ。26日(金)には修学旅行の荷物を学校から各旅館へ配送した。また、二学期の教室の前には過去のスキー旅行の写真が大きく掲示されているので、ぜひ見てほしい。

### 60回生 いざ蔵王へ

着々と準備が進む

スキー修学旅行の始まり  
錦城一回生の生徒が二年生になった1965年、修学旅行の計画が大きな課題として挙げられた。当時の高校の修学旅行は京都や奈良などの観光地が主流であったが、錦城高校の教員は「他では行っていないユニークなもの」という条件で新しい修学旅行について考えていたという。当時の体育科の先生であった舩巴先生は蔵王でのスキー旅行

となった。1997年、錦城が男子校から共学へと変わる際には「スキー旅行だと女子は喜ばない」との意見が寄せられたことにより、一時期は海外旅行に決まりかける。しかし「男子校時代からスキー旅行を行っている理由がある。共学一年生をスキー旅行に連れて行くから判断してほしい」という意見もあり、共学一回生の修学旅行はスキーになった。修学旅行終了後にはほとんどの生徒が喜んでいたので、最終的に錦城の修学旅行は蔵王でのスキー旅行になった。

スキー修学旅行の変遷  
一回生は蔵王まで観光バスを利用し、14時間かけて移動したそうだ。移動手段は28回生(1992年)から新幹線での移動に変更。35回生(1999年)からはスキーだけでなく、陶芸体験教室も日程に加えられた。さらに、44回生(2008年)からは5日目に仙台での自由時間も加えられる。50回生(2014年)

が迎えたスキー旅行50周年では、蔵王体育館で50周年記念式典が行われた。蔵王山の噴火警戒レベル引き上げや新型コロナウイルス感染症による影響で開催が見送られ、今回の60回生のスキー旅行は錦城高校としては56回目の開催となる。

### 皆さん、気づきましたか?



旧校舎裏の梁畑が伐採されました!  
何ができるのでしょうか…?

#### 修学旅行の心構えは?

2年学年主任の太田先生によると、錦城のスキー修学旅行は「蔵王の人が教員の代わり



修学旅行が楽しみです

りに錦城生にスキーを教えてくれたことがきっかけです」とのこと。昔は錦城の先生が直接スキーの指導をしていたそう。しかし蔵王の方々の優しさで、スキーを錦城生に教えてくれることになったのがきっかけだそう。来週から始まる修学旅行について「修学旅行を通して、生徒の皆さんが友達や先生との普段見ることのない一面を知ることができたらうれしいです」と太田先生。先生自身も普段と違うところに教え子が行けることが楽しみだそう。60回生には、慣れない雪山で転んでけがをしないように気を付けてほしいという。60回生に向けて「ワクワクしてその日を迎えてください」と呼びかけた。

### 第439号に誤りがありましたので訂正しお詫び申し上げます

#### 【大会報告】

##### ○陸上部

第72回元旦競歩大会 高校女子の部早川愛花(2L)9位

第26回新春駅伝競走大会 女子Aチーム3位入賞(区間入賞3名)

##### ○将棋部 関東大会出場

【発行日(2面)】 1月19日(金曜日)



Photo: 瀬戸秀美さん  
写真提供: (株)光藍社

部と有志の生徒が事前に学習を行った打ち合わせをした。11「芸術の力」を戦っているウクライナ国立バレエの皆さんについての理解をよ

### ウクライナ国立バレエ鑑賞・取材会に参加 高校生記者が学ぶ芸術の力

12月24日(日)、東京国際フォーラムで開催されたウクライナ国立バレエ日本公演「雪の女王」の鑑賞・取材会に、錦城高校の新聞委員会編集部の生徒と有志の生徒が参加した。協賛の(株)CHINTAI様よりご招待をいただき、実現した。錦城高校では、編集高校生記者からの質問に、寺田さんから真摯かつ熱意あるお話をいただいた。詳細は、今後発行予定の紙面にてお伝えする。

なお、本取材会の様子は他メディアにも取り上げられ、毎日新聞Web版に本校生徒のコメントが掲載された。(毎日新聞2023/12/24、23/11/23)

「芸術の力」を戦っているウクライナ国立バレエの皆さんについての理解をよ

### 56回生 ただいま! 蔵王 蔵王スキー修学旅行

1.27(Mon)~1.31(Fri)

あつたの玉こんにゃくと一緒に  
グラフティ in 蔵王!!

写真を多く使い、蔵王の雰囲気伝える

中でも注目したいのが「蔵王で錦城生を待っている方がいます」という見出しで始まる文章だ。実は、前年の第55回生の修学旅行は蔵王ではなく、岩手県の安比が舞台となっていた。そのため、56回生の修学旅行蔵王で行われるのは一年ぶりだったのだ。

松金家アネックスという旅館の大女将を務める齋藤優子さんの取材では、錦城生が再び蔵王に戻ってきたことを喜ぶ様子が記されている。「最後の歴史にも目を向けてみてはいかがだろうか。」(普)

### 蔵王への愛を「め」

食べ物についての記事を見ていると「あつた玉こんにゃくで一休み」という見出しの文章が、串に刺さったこんにゃくの写真とともに掲載されている。「口に入れると、まづ、出来立ての印が。『あつた』といった文章からはなんと美味しそうな様子が伝わり、寒い蔵王ならではのエピソードが際立つ。

また、山形市内の観光について書かれた記事では「願いま!蔵王」という文字が大きく書かれている。理由は違えど、「ただいま!蔵王」という状況は、コロナ禍の影響から抜け出し4年ぶりに蔵王に行けることになった60回生と似ており、共感ができる。それだけではなく、「久しぶり!」ではなく「ただいま!」というフレーズであることに、錦城生の蔵王に対する愛が感じられた。

### 大会報告

ハンドボール部  
▽1月14日  
武蔵村山ゆりと杯争奪ハンドボール大会  
女子の部  
第3位

### 生徒会動静

1.23~1.25

修学旅行実行委員会活動中  
合唱祭実行委員会活動中  
中央委員会  
1月23日  
テレビ東京「田村淳のタカトビ」出演  
1月24日  
代議員会  
1月24日  
中央委員会  
新入生歓迎会  
1月25日  
準備